micro:bit → ESP32 シリアル-HTTP 送信コマンド

概要

[シリアル通信 1 行書き出す]を用いてコマンド文字列をシリアル通信で ESP32 へ送信する。コマンドの書式は、各要素(引数)をカンマ区切りで繋いだ文字列である。先頭の要素はコマンドの種類を示すアルファベット 3 文字で、以下はそのコマンドに必要な要素(引数)が続く。

- ※ ESP 側の処理として改行コード取得でコマンド受信完了となるので、 改行コード付きで送信する[シリアル通信 1 行書き出す]を用いる。
- ※ ESP からの戻り値は改行コード付きの文字列として反る。ESP32 側の処理に 時間がかかるので micro: bit 側で十分な時間を待つか、[シリアル通信 1行 読み取る]を用いて改行コードを受信するまで待機させてから次のブロック へ処理をすすめる。

コマンド

Wifi 接続:LAN

書式:LAN,SSID,パスワード

戻り値:成功 = 0 / 失敗 = -1

例:

LAN, W04_5001D9CC93AC, 11889a4qt6frqde

GET リクエスト送信:GET

書式:GET,URL 文字列

戻り値:HTTP のリターンコード

例:

GET,http://*****/update.php?param1=15¶m2=1

POST リクエスト用ヘッダの登録: AHD

書式:AHD,パラメータ名,値

戻り値:成功 = 0 / 失敗 = -1

```
AHD, Content-Type, application/json
 AHD, Content-Type, text/plain
 AHD, Host, ******.cybozu.com:443
 AHD, Connection, close
POST リクエスト用ユーザーエージェントの登録:SUA
 書式:SUA,ユーザーエージェント名
 戻り値:成功 = 0 / 失敗 = -1
 例:
 SUA, Arduino Post Client
POST リクエスト送信:POS
 書式: POS, URL 文字列, データ文字列
 戻り値:HTTP のリターンコード
 例:
 POS, https://******.cybozu.com/k/v1/record.json, { "app":
 15, "record": {"date": {"value": "2018-08-30"}, "kondate":
 {"value": "Yakiniku"}}}
 POS, http://****.php, C123466712345678&
直前の GET/POST リクエストによるサーバからの返信内容の取得:PLD
 書式:PLD
 戻り値:成功 = 0 / 失敗 = -1
 例:
 PLD
```

例:

登録済みの POST リクエスト用ヘッダの消去(全て消去される):CHD

書式:CHD

戻り値:成功 = 0 / 失敗 = -1

例:

CHD

登録済みの POST リクエスト用ユーザーエージェントの消去:CUA

書式:CUA

戻り値:成功 = 0 / 失敗 = -1

例:

CUA

使い方

- 1. [最初だけ]ブロックで LAN コマンドを用い Wifi 接続を行う
- 2. [ずっと]ブロック内でデータを作成しHTTPのGETもしくはPOSTリクエストを送信する
- 3. 必要であれば、PLDコマンドでサーバからの送信データを取得する

GET リクエストの送信方法

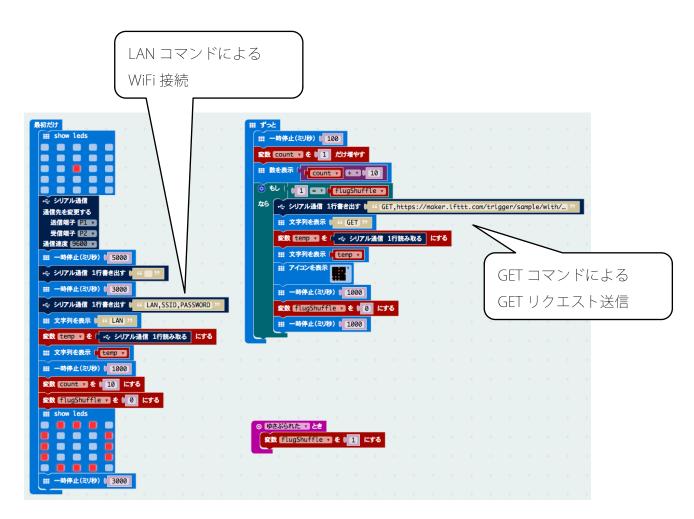
- **1.** URL の後ろに続けて「?パラメータ **1**=値**&**パラメータ **2**=値~~~」の書式 で GET リクエスト用の文字列を作成する
- 2. GET コマンドで送信する

POST リクエストの送信方法

- 1. AHD コマンドで必要なヘッダーを全て登録する
- 2. 必要であれば、SUA コマンドでユーザーエージェントを登録する
- 3. **POS** コマンドで**URL** とデータ文字列を送信する**(**データ文字列の書式はサービスによって異なる**)**

GET リクエストの送信例

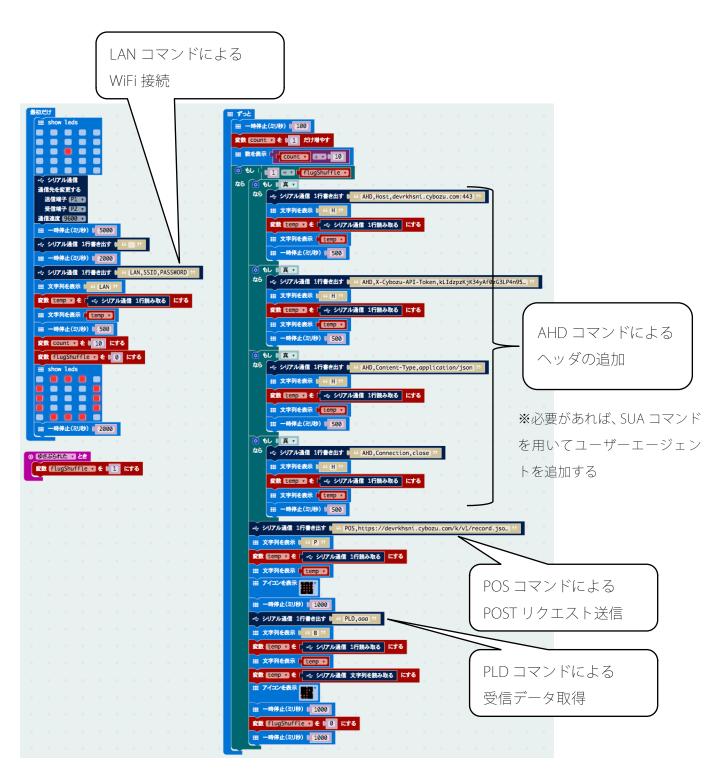
GET リクエストによる google スプレッドシートへの IFTTT 経由でのデータ 登録の例



https://makecode.microbit.org/_HDm4FJWds54a

POST リクエストの送信例

POST リクエストによる kintone へのデータ登録の例



https://makecode.microbit.org/_KFuA0sWip3wY